

3あの子

あかるい子
あたたかい子
あくまでがんばる子

令和8年3月23日

本年度(令和7年度)朝日小学校の教育実践について

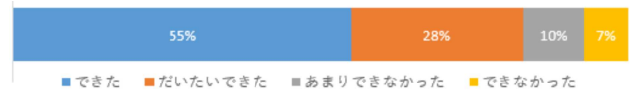
本校の教育活動に対し、温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。
スクールプランに基づく本年度の教育実践と評価をお知らせします。

未来を拓く ー好奇心をもって探究するカー

全校児童対象アンケート(12月実施)

「自分にあった学習」と「みんなと学ぶ学習」で
楽しく学ぶことができましたか

地域の方とつながりながら朝日地区の魅力を
発見できましたか



具体的な実践



学びを支えるICTの活用



探究のロードマップ



iPadでふりかえりと計画



向かい合う心とアイデア



人に出会い学びが動き出す



書くことも大切



全校児童の読書チャレンジ



町長さんに子どもたちの声を



高校生からもアドバイス
朝日常磐万博へ

令和8年度につなげて

- 児童全員が学びに向かう授業づくりを一層進めます。学習者主体の単元構想を練り、実践、公開、省察を丁寧に行います。探究プロセスの質を高めていきます。
- 気持よく学習できる環境づくりを子どもと一緒に考える活動を行います。

幸せな社会を創る・健康
ー多様な存在を尊重しつつつながり合う・自らの心と体を育むー

全校児童対象アンケート(12月実施)

友だちの行動や言葉で心がぼかぼかしましたか



心も体も元気に過ごすことができましたか



具体的な実践

異学年交流×児童がプロジェクトを主導



縦割り班でも交流

共に表現するインクルーシブな学び

特別支援学校のお友達とつながる
 音楽「ソーラン節」で網を引く動き



**生活委員会発！
あいさつ
カレンダー**



異学年のピア・サポート活動 (支え合う活動)



生産者の想いといっしょにいただく(食育)



米作りから学ぶ、命と食



気持ちよくいただく食事マナーの学習



令和8年度につなげて

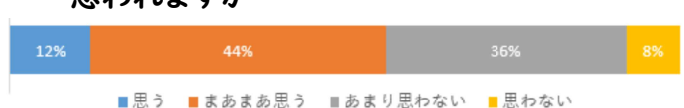
- 活動前にめあてを確認し、つながり合うことの意義を理解できるようにします。活動後には、児童が感想を伝え合い、写真等の記録を掲示し、振り返りを行います。
- 自分の言葉の背景に隠れている感情を意識しながら表現する力を育みます。
- ソーシャルスキルを高める授業、レジリエンスに関する授業を行います。
- 給食の時間の「食の指導」を継続します。感謝の気持ちを伝える機会を設けます。

保護者対象アンケート(12月実施)

朝日小学校の児童は地域であいさつをしていますか



お子さんはメディアを適切に使用していると思われますか



Well-beingを支える環境 子ども・地域・保護者・教職員



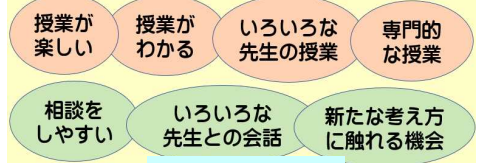
学習者主体の連続した学びを描く計画

1	1. 動画を観よ、動画についての感想を交流する。	1. 感想を共有し、共有する。
2	2. 単元を貫く学習課題「いろいろなへんか」に目を付けて読み、さまざまな場面を読み解く。	
3	3. 動画とこの内容を整理する。	1. いろいろな「いろいろなへんか」の場面を整理する。
4	4. 引ばちばちと読まれた場面ごとのいろいろな様子や気持ちを書き出し、整理し、整理し、整理する。	1. いろいろなへんかについて、いろいろな様子や気持ちを整理し、整理する。
5	5. いろいろな場面ごとの中心人物の考えや態度を考察する。	1. いろいろな場面ごとの中心人物の考えや態度を考察する。
6	6. 動画の場面ごとの整理し、整理し、整理する。	1. いろいろな場面ごとの整理し、整理し、整理する。



放課後の教員の学び合い

子どもがプラスにとらえている点



チーム担任

授業づくり通信で「工夫」を共有



学校行事のわくわく感を高める掲示



保護者と願いを共有して

令和8年度につなげて

- 教員の指導の整合性を高めます。教育相談、特別支援、生徒指導の連携を深め、発信します。
- 自律し、創造し、協働することで、教育職の魅力を高めます。教員の成長機会を保障します。
- 会議の有効化、業務の効率化、過度な負担の軽減を図り、教員のワークライフバランスを促します。

全校児童対象アンケート(12月実施) 学校は楽しいですか



学校関係者評価(評価委員さんより)

<学校関係者評価委員> 松村 充さん 松田美喜子さん 長谷川恭太さん 齋藤秀和さん

未来を拓く

本校では、地域とのつながりをとても大切にしていることはもちろん、他校との交流を行うことで、学校方針や環境が異なる児童生徒から多くの学びや気づきが得られたことと思います。また、地域の文化や観光、町長との交流を深めることで、「越前町の魅力」を探究している点が大変素晴らしいと感じました。特に小学5年生では、7つのグループに分かれて町内のさまざまな場所を訪問し、地域の方を招いた出前授業を受け、実際に地域の方と交流することで、教室内の学びにとどまらない実感を持った学習ができたことは、非常に意義深いものです。

昨今、活字離れが進む中、読書がんばりカードを取り入れたことで、普段より多くの本を読むことができた点も素晴らしい取組だと思えます。さらに、ICTを活用した個別最適な学びを取り入れたことで、情報活用能力の向上やつまずきポイントの改善が、より効率的に図られるようになったと感じました。今後も、子供たちとともに学習環境について考察し、家庭や地域と連携しながら教育活動がさらに充実していくことを期待しています。

幸せな社会を創る

「ありがとうの木」や「人権川柳」が校内に掲示されており、自他を尊重する感覚や仲間を大切に思う気持ちを育む、素敵な取組であると実感しました。縦割り班活動については、学校内だけでなく放課後においても学年を越えて一緒に遊ぶ様子が見受けられ、児童同士の交流が深まっていることがうかがえました。また、挨拶を通して「すがすがしい環境づくり」が進められており、元気に挨拶ができる児童が増えてきていると感じました。

児童によるプロジェクト主導の取組では、子どもたち自身が課題を見つけ、その目的や課題、解決に向けた方法について主体的に考える力が育まれていると感じました。一方で、保護者アンケートにもあるように、朝日小学校の児童は不審者問題への配慮もあるためか、挨拶をする相手を選んでいくように感じられる場面もあります。今後は、地域での挨拶を含めた児童プロジェクトを進めていくことで、人と人とのつながりを実感できる学びが、さらに広がっていくことを期待したいと思います。

健康

ピア・サポート活動において、体育大会で「全員参加」が実現されている点は、大変素晴らしいと感じました。椅子を校庭に運び出す際にも、高学年が低学年に声をかけ、協力し合う様子を目の当たりにし、心が温かくなりました。このようなポジティブな関わりが学校全体に広がり、「またやってあげたい」という児童の前向きな気持ちにつながっている点は、非常に意義深いものです。また、児童が主導権を握りながら大会運営を進めている様子が、随所から伝わってきました。

食事マナーに関しては、作法を学ぶ機会を設けたことで、家庭においても日頃の様子を再確認する良いきっかけになったのではないかと思います。さらに、米作り体験を通して食への関心が深まり、生産者の苦労について学ぶことができた点も、非常に素晴らしい取組だと感じました。今後は、心身の健康のみならず、社会や環境にも目を向けた食育が、さらに充実していくことを期待しています。

Well being

チーム担任制の導入により、担当教員が変わることで「授業が楽しい」といった意見が多く見られ、授業面および生徒指導の両面において、多角的な支援が行われていると感じました。教育相談や特別支援コーディネーターと連携した個別支援も、高く評価できる取組であり、その狙いや支援の流れを保護者にも丁寧に伝えていくことで、家庭と学校が同じ方向を向いて子どもを支える体制が、より強固になると考えます。

また、丹生高校の先輩を招いて行われた活動も、地域交流の一環として大変意義深い取組であると感じました。児童アンケートにおいて「チーム担任制」が高く評価されている現状から、先生方にはぜひ自信を持って、引き続き生徒指導に取り組んでいただきたいと思います。

さらに、先生同士が気軽に集まり、話し合うことのできる「サロン」の場を提供する取組も、非常に重要であると考えます。今後は、教職員が安心して力を発揮できる働き方をさらに推進するとともに、学校の取組や日常の様子を積極的に発信していくことで、児童・保護者・教職員が共に Well-being を実感できる学校づくりが、より一層充実していくことを期待しています。

その他 学校全般

先生方のワーク・ライフ・バランスの見直しについては、引き続き重点課題として改善を進めていただき、より良い職場環境、ひいてはより良い教育環境の構築を図っていただきたいと思います。あわせて、先生方の業務負担軽減についても、継続的に取組を進めていただくことを期待します。

また、旧常磐小学校の有効活用の一つとして「朝日常磐万博」が実施されますが、今後も地域や他校との交流の場として、引き続き有効な活用方法を検討していただきたいと考えます。

温かいご支援をありがとうございました。